

電話、メールに続く第3 のコミュニケーションツールは、 “MeetingPlaza”

テイクアンドギブニーズ (T&G) ウェディング事業本部
事業戦略室長 田部正樹 氏



まず最初に御社では Web 会議 (MeetingPlaza) をどのような業務で活用されていますか？

弊社の業務は結婚式場の運営です。弊社では多くのウェディングプランナーや調理スタッフを抱えており、北は北海道、南は鹿児島まで全国展開をしています。営業拠点が直営だけでも61店舗あるので、通常、合同打ち合わせを行うとなれば、交通費や時間の面で負担が大きく、社員は本社に年に1度集まれるか否かの状況となってしまいます。

そのような状況を受けて、MeetingPlaza を導入しました。

現在、全国および、北海道、北陸、関東など各エリア別情報共有のために、週1回、約2時間の営業責任者会議を行っています。毎週水曜、朝礼も兼ね全国区での情報共有として、11部屋のオンライン会議室 (MeetingPlaza) を使用して会議を行っています。

その他MeetingPlazaの活用する上でのメリットをご紹介ください。

通常打ち合わせ以外に、弊社で大きな人事異動があった際にMeetingPlazaで就任演説を行ったことがあります。

幹部は本社におり、各拠点に一斉配信を行いました。

弊社は、「結婚式という商品」を扱う、いわば サービス業であり、また、組織として10年足らずの歴史を持つベンチャー企業なので、新しく就任したスタッフが組織内を認知していなければ、業務内容や会社組織の理解が遅れてしまいます。

他の会社に比べればサービス業ということもあって、顔を付け合わせるフェース・トゥ・フェースのコミュニケーションはとて有効といえます。パソコンを利用する Web 会議ということもあって、資料を共有するなど、パソコン機能をフルに利用できるメリットもMeetingPlazaにはありますね。

MeetingPlaza の使用感はいかがですか。

もうかなり長い間使い込んでいることもあって、スタッフは皆、使用法に慣れてしています。MeetingPlaza は、とても使いやすいユーザーインターフェースを持っていますね。

御社でのWeb会議の位置づけはどういったものでしょうか。

営業拠点間の定例ミーティングが基本ですが、同時に経営幹部に対する一対多数配信も行っています。

時には電話ではなく、MeetingPlaza でミーティングを行います。それは顔が見えた方がマネジメントがしやすいという考え方からきています。メールは一方向 (一対多数、時間差が出る)、電話 (インタラクティブ、一対一、リアルタイム)、それらに対し、MeetingPlaza はその2つのコミュニケーションの中間的な立場で、チャット的なコミュニケーションがとれるツールとして重宝しています。

出張の際や、部門内でのミーティングには活用されますか。

部門内では、Web 会議をほとんど使用しません。部門内はコミュニケーションのとれているスタッフなので、敢えて Web 会議を活用することはありません。MeetingPlaza では、あまりコミュニケーションがとれない他部門の方達とのコミュニケーションをとるようにしています。

MeetingPlaza の機能のひとつである記録再生を使われることはございますか。

管理職の初心表明などは、記録機能を使用することがあります。営業定例会議は文字での議事録作成が基本ですね。

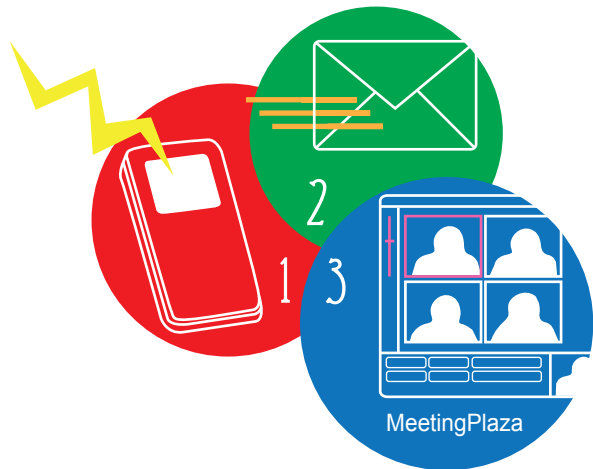
今後のバージョンアップでどのような機能が欲しいですか。その他何かご不満な点、改良してほしい機能はございますか。

現状、特にありません。

最後に、Web 会議を検討する企業ご担当者に御社からのメッセージをお伝えください。

T&G では、全国的なエリアで結婚式という商品を扱っています。例えば名刺入れを扱っている会社であれば、商品は一つに決まっているのでいいのですが、結婚式は、毎日、毎回、また、顧客ごとに変わる「商品」です。日々変わる流行やお客様の動向、弊社の方針など、ブライダルの現場はどんどん変化していくものなので、なかなか情報が浸透できません。そのような状況で、電話メールに加えるべきコミュニケーションツールは、やはり Web 会議だと思います。MeetingPlaza は一般消費財以外でビジネスを行う企業、特にサービス業の方々が使用する場合には、とても重宝するものだと思います。

本日はご対応をいただき、誠にありがとうございました。



企業情報

T&G TAKE and GIVE NEEDS

株式会社テイクアンドギブ・ニーズ

<http://www.tgn.co.jp/>

T&G の提供する挙式・披露宴のスタイル「ハウスウェディング」は、一軒家を貸切で使用し、「わが家にお客様を招待する」ようなプライベート感、オリジナル感を重視した新しいウェディングスタイルを目指しています。

